



これまでの
振り返り
見えた光

- ・効果的な「問い」の精選や児童の思考に沿った言葉の使い分けについての意識が向上した。
- ・話し合い活動や振り返りの視点を明確にすることにより、1時間を貫くテーマに沿う内容となった。
- ・アンケートからは、肯定評価の高まりは見られず、全体的に低下している。しかし、振り返りの量や内容が多岐にわたってきたことから意識の高まりが見られてきたと考えている。

これからの
鳳至っ子の
ために..

- ・「問い」の更なる精選と児童の思考から、その場で問いを構成する力の向上。
→35時間の確実な道徳科の授業の実施と「発問自己評価シート」により、高まっていくものとする。
- ・「書く」活動を複数回入れ変容を見取るのは、1時間の授業の充実には適さないこともあった
→発達段階を考慮し、「書く」活動を精選することにより、話し合い活動の充実へつなげる。
- ・日々の生活の中(基盤)での道徳教育を充実することにより、生きた道徳へとつなげていく。
→地域との連携を密にした活動、ボランティア活動の充実、家庭との連携を充実させていく。
→日々の学校生活で、道徳科と関連付けながら指導をしていくことを一層意識していく。

